

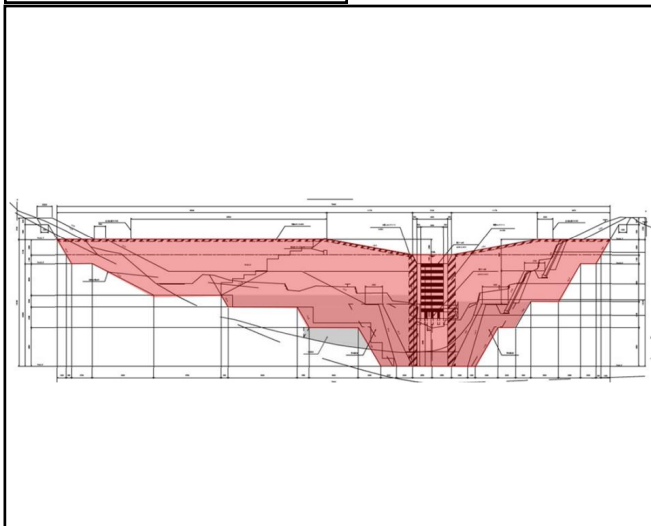
番号	16	令和8年度公共事業再評価調書				担当課名	砂防課																									
事業名	通常砂防事業				事業主体	静岡県																										
ふりがな	たごおたがわしせんおんかみがわ				関係市町	賀茂郡西伊豆町																										
箇所名	田子太田川支川御神川																															
事業採択年度	平成 29 年度		計画期間	平成29年度 ~ 令和10年度																												
用地着手年度	平成 30 年度		工事着手年度	令和 2 年度																												
再評価理由※	前回再評価後5年経過																															
全体事業費	百万円 420	投資状況 (百万円)	~R6年度 274	R7年度 100	R8年度見込 1	計 375																										
事業概要	(1)事業目的 御神川は静岡県伊豆の西伊豆町田子地区に位置し、保全対象として人家12戸、国道136号及び町道等を含む土石流危険渓流である。 御神川上流では、渓床に不安定土砂が厚く堆積しており、土石流による甚大な被害が懸念される。このため、砂防堰堤を整備し、土砂災害を未然に防止したい。 (2)事業内容 砂防堰堤工 1 基																															
【視点1】	(1)事業を巡る社会経済情勢等の変化 ・近年、激甚災害が頻発化し、県内でも甚大な土砂災害が発生しており、西伊豆町においても平成29年度からこれまでに10件の土砂災害が発生するなど、事業に対する地元の期待も大きい。 ・被害想定区域を含む地区住民にアンケートを実施したところ、回答者12世帯中8世帯が「事業を継続する必要がある」と回答しており、事業に対する地元住民からの要望も強い。 (2)事業の投資効果 ○費用便益分析結果 (令和 8 年度時点) <table><tr><td>B/C (i=4%)</td><td>参考:B/C (i=2%)</td><td>参考:B/C (i=1%)</td><td>EIRR</td></tr><tr><td>4.0</td><td>6.6</td><td>8.8</td><td>12.4%</td></tr></table> ・総便益 (B) 13.3 億円 (平均便益: 0.8億円) ・総費用 (C) 3.4 億円 (建設費: 2.9億円、維持管理費: 0.4億円、用地残存価値: 0.1億円) ○見込まれる効果 (定性的な効果) ・土石流による甚大な被害の防止						B/C (i=4%)	参考:B/C (i=2%)	参考:B/C (i=1%)	EIRR	4.0	6.6	8.8	12.4%																		
B/C (i=4%)	参考:B/C (i=2%)	参考:B/C (i=1%)	EIRR																													
4.0	6.6	8.8	12.4%																													
事業の必要性	(3)事業の進捗状況 (令和 8 年度見込み) <table><tr><td colspan="2">区 分</td><td>進捗率</td><td colspan="2">内 訳</td></tr><tr><td colspan="2">事業費</td><td>89.3%</td><td colspan="2">(375 百万円 / 420 百万円)</td></tr><tr><td rowspan="2">事業量</td><td>砂防堰堤工</td><td>69.2%</td><td colspan="2">(9 m / 13 m)</td></tr><tr><td>管理用道路</td><td>0.0%</td><td colspan="2">(m / 65 m)</td></tr><tr><td colspan="2">用地取得</td><td>67.8%</td><td colspan="2">(4,000 m² / 5,900 m²)</td></tr></table> <table><tr><td>評価</td><td>継続が妥当</td></tr></table>						区 分		進捗率	内 訳		事業費		89.3%	(375 百万円 / 420 百万円)		事業量	砂防堰堤工	69.2%	(9 m / 13 m)		管理用道路	0.0%	(m / 65 m)		用地取得		67.8%	(4,000 m ² / 5,900 m ²)		評価	継続が妥当
区 分		進捗率	内 訳																													
事業費		89.3%	(375 百万円 / 420 百万円)																													
事業量	砂防堰堤工	69.2%	(9 m / 13 m)																													
	管理用道路	0.0%	(m / 65 m)																													
用地取得		67.8%	(4,000 m ² / 5,900 m ²)																													
評価	継続が妥当																															
【視点2】	今後の事業の進捗の見込み 令和7年度より本堤工に着手し、令和10年度までに完成する見込みである。 地元住民からの期待も大きいことから、事業を計画的に推進し、令和10年度完了を目指す。 <table><tr><td>評価</td><td>継続が妥当</td></tr></table>						評価	継続が妥当																								
評価	継続が妥当																															
【視点3】 新たなコスト 縮減・代替案 立案等 の可能性	建設発生土を堤体の材料として活用できるソイルセメント工法を採用し、建設発生土の現場内での有効活用を推進することや、農林事務所で行っている圃場整備事業等他工事への流用を行うなど、コスト縮減と工期短縮を図っていく。																															
対応方針 (案)	(1)対応方針(案) 本事業を 【 継続 】 する。 (2)理由 事業は順調に推移しており、費用対効果も認められることから、事業を継続して整備の推進を図る。																															

1. 位置図



2. 事業概要

正面図



事業目的

田子太田川支川御神川は、賀茂郡西伊豆町田子地区に位置し、保全対象としての人家は12戸および第1次緊急輸送路に指定されている国道136号、町道を含む土石流危険渓流である。御神川上流の渓床には不安定土砂が厚く堆積し、土石流による甚大な被害が懸念される。このため、砂防堰堤を整備し、土砂災害を未然に防止したい。

事業内容

- ・ 河川名：田子太田川支川御神川(西伊豆町田子地先)
- ・ 計画期間：平成29年度～令和10年度
- ・ 事業費：420百万円
- ・ 事業量：砂防堰堤工 1基
堰堤（透過型）高さ13.0m、堤長72.0m、計画捕捉量1,208m³

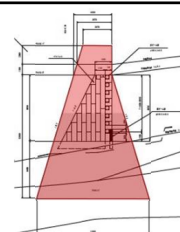
荒廃状況



周辺状況



側面図



3. 御神川の事業概要

前回からの変更点・理由

	前回 (R3)	今回 (R8)	主な変更理由
①計画期間	H29～R5	H29～R10 (+5年)	・境界確定に際し、事業用地の買収範囲の調整に不測の日時を要したため
②全体事業費	200百万円	420百万円 (+220)	・堰堤計画位置の見直しにより、砂防堰堤工を増工したため ・資材単価、労務単価の著しい高騰

4. 事業の投資効果

事業の投資効果（費用対効果の検証）

総便益 (B)

総便益 13.3億円

- ☐ 直接被害
 - ・家屋被害、道路被害、人的被害（逸失利益）
- ☐ 間接被害
 - ・営業停止、交通途絶、人的被害（精神障害）

総費用 (C)

総費用 3.4億円

- ・建設費
- ・維持管理費



費用対効果(B/C):4.0 経済的内部収益率(EIRR):12.4%

前回の費用対効果(B/C):3.8

・「砂防事業の費用便益分析マニュアル」の改定に伴い、人的被害額の精神的損害額が2.26億円/人⇒6.01億円/人に上げられたため

5. 今後の事業の進捗の見込み

●事業推進のための取組

- ・ 計画的に事業進捗を推進するために、地元調整を行いながら令和10年度の完了を目指す。
- ・ 活用可能な建設発生土の現場内での有効活用や他工事への流用、新技術・新工法の活用を検討するなどコスト縮減と工期短縮を図っていく。